

令和7年度 事業報告

【指定管理部門】

一般社団法人三次観光推進機構

三次市三次地区拠点施設
指定管理部門 令和7年度 報告書

《構成》

- 1 湯本豪一記念日本妖怪博物館の展示について
 - (1) 新規寄贈資料の受け入れ
 - (2) 常設展の開催
 - (3) 企画展・特別企画展等の開催
 - (4) 常設展・企画展・特別企画展関連イベントの内容
 - (5) 資料の貸出
- 2 指定管理部門の運営体制について
 - (1) 担当者と主な役割
 - (2) 人員の配置
 - (3) 健全経営に向けた取組
- 3 博物館業務について
 - (1) 開館・入館者数の実績等
 - (2) 広報活動について
 - (3) 運営業務（各種事業等）の実施について
 - (4) ホームページ・各種 SNS の実績と目標
 - (5) 教育関連業務
- 4 博物館の売店業務について
 - (1) 売上実績と目標
 - (2) 主な販売品目
 - (3) 本年度の新商品
- 5 交流館の売店業務について
 - (1) 売上実績と目標
 - (2) 現状と課題等
- 6 貸館業務について
 - (1) 賃貸料収入実績等
 - (2) 交流館レストラン賃貸借について
 - (3) その他の施設利用について
- 7 施設維持管理業務について
 - (2) 日常点検
 - (2) 専門業者による維持管理業務

1 湯本豪一記念日本妖怪博物館の展示について

(1) 新規寄贈資料の受け入れ

ア 概要

令和 7 年 9 月、当館名誉館長湯本豪一氏から、新たに収集されたコレクション約 700 点を寄贈していただいた。今回の寄贈は、開館時に次ぐ大規模なもので、いただいた資料の総数は約 5,500 点となった。

これらの資料は、絵巻、錦絵、装身具、玩具など、ジャンル也多岐にわたる。特に、「是害房絵巻」は、当館では初収蔵となる中世期の絵巻で、大変貴重なものである。館蔵資料のさらなる充実により、展示の魅力向上・妖怪研究の進展が期待される。

寄贈いただいた資料は、博物館における今後の展示や調査研究等において活用していく。

イ 新規寄贈資料の内訳と総数

分類	点数
卷子類	19
掛軸類	48
屏風	1
錦絵類	82
冊子、本類	222
古文書、印刷物、広告類	143
陶器類	14
玩具類	92
装飾品、装身具類	34
木彫像	1
その他	103
合計	759

ウ 贈呈式

(ア) 日時：9/22 14:00～

(イ) 場所：湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）2 階会議室

(ウ) 取材およびメディア掲載

テレビ→NHK 広島放送局,中国放送,広島ホームテレビ,テレビ新広島,三次ケーブルビジョン

新聞→中国新聞社,朝日新聞社,読売新聞社

その他→web ムー（株式会社タートルカンパニー）

エ 特別公開「湯本豪一名誉館長 新規寄贈資料 お披露目展」

この新規寄贈を記念して一部を入館者にもお披露目する特別公開を 10 月 16 日から 10/28 日に企画展示室の一部を使って開催した。詳細は(3)のウに記載。

(2) 常設展の開催

ア 春の常設展「日本の妖怪」「稲生物怪録」

(ア) 期間：4/1～6/17（前期 3/27 から実施）

(イ) 概要

「日本の妖怪」では、日本の妖怪の歴史の流れを紹介する展示内容に沿って、約 70 点を展示した。「稲生物怪録」では、物語の内容や歴史について 45 点の資料を展示した。中には、三次市重要文化財『三次実録物語』の写本展示を実施した。

イ 夏の常設展「日本の妖怪」「稲生物怪録」

(ア) 期間：6/19～9/16

(イ) 概要

「日本の妖怪」では、日本の妖怪の歴史の流れを紹介する展示内容に沿って、約 70 点を展示した。夏の妖怪をテーマに、河童や人魚など、水にまつわる妖怪を中心に展示した。「稲生物怪録」では、物語の内容や歴史について 45 点の資料を展示した。中には、三次商工会議所蔵『稲生怪談』下巻の絵巻展示を実施した。

ウ 秋の常設展「日本の妖怪」「稲生物怪録」

(ア) 期間：9/18～12/16

(イ) 概要

「日本の妖怪」では、日本の妖怪の歴史の流れを紹介する展示内容に沿って、約 70 点を展示した。また、NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」の放送にあわせて、特設コーナー「小泉八雲と妻・セツ」を設置した。「稲生物怪録」では、物語の内容や歴史について 45 点の資料を展示した。中には、三次市重要文化財『稲生物怪録 絵巻（堀田家本）』上巻の展示を実施した。

エ 冬の常設展「日本の妖怪」「稲生物怪録」

(ア) 期間：12/18～3/24

(イ) 概要

「日本の妖怪」では、日本の妖怪の歴史の流れを紹介する展示内容に沿って、約 70 点を展示した。NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」の放送にあわせて設置した、特設コーナー「小泉八雲と妻・セツ」について、好評のため展示を延長した。「稲生物怪録」では、三次市重要文化財『三次実録物語』を展示した。

(3) 企画展・特別企画展等の開催

ア 春の企画展「幻獣 GENJU ー信じられてきたものたちー」

(ア) 期間：4/1～6/24（3/7 から実施）〔開催日：95 日（4/1 以降 73 日）〕

(イ) 入館実績：14,275 名（4/1 以降 11,411 名）

(ウ) 概要

人魚や河童など、実際にはいないけれども、いると人々に信じられてきた「幻獣」。

本企画展では、当館所蔵の幻獣に関する本や錦絵、ミイラなどを一堂に展示した。
また、ヒバゴンやツチノコなど広島県内の幻獣も特集し紹介した。

イ 夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」

(ア) 期間：6/27～11/18〔開催日：129日〕

(イ) 入館実績：24,613名

(ウ) 概要

妖怪浮世絵の傑作を多数展示し、浮世絵師そのものにも焦点をあて、歴史をたどりながら鑑賞できる内容とした。浮世絵に注目の集まる、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放送に時期をあわせて開催し「絵草紙屋」を再現した。

ウ 特別公開「湯本豪一名誉館長 新規寄贈資料 お披露目展」

(ア) 期間：10/16～10/28〔開催日：12日〕

(イ) 入館実績：(1,893名)

(ウ) 概要

湯本豪一名誉館長から新たに寄贈いただいた約700点の中から計9点を厳選し、企画展示室にて特別公開した。当館初収蔵となる中世期の絵巻「是害房絵巻」を始め、錦絵や根付、絵馬など様々な分野の資料を展示することで、館蔵資料が一層充実したことを伝えた。

エ 新春企画展「妖気なもののけLIFE 2026 午 Ver.」

(ア) 期間：11/21～3/10〔開催日：90日〕

(イ) 入館実績：7,779名

(ウ) 概要

“妖怪と暮らす”をテーマに、「妖怪」がモチーフの装飾品や工芸品、日用品など、さまざまな道具を展示した。また、干支の「午」にちなみ、馬の妖怪と絵馬のコーナーを設置した。

オ 春の企画展「狐と《変化物語》」

(ア) 期間：3/13～6/23(開催中)〔開催日3月31日まで:17日、全期間:80日〕

(イ) 入館実績：8,914名(2026.5月20日時点)(2,485人3/31まで)

(ウ) 概要

化ける動物妖怪の筆頭である狐を特集した展示。狐の登場する、江戸時代の丹後国(現在の京都府北部)を舞台とした妖怪物語《変化物語》を中心とし、所蔵の写本と絵巻を大々的に展示した。

(4) 常設展・企画展・特別企画展関連イベントの内容

ア 春の企画展「幻獣 GENJU ー信じられてきたものたちー」

・4/19 もののけギャラリートーク 参加者：15人

・4/27 ヒバゴン グリーティング&トークショー 参加者：148人

- ・ 4/27 館長もののけトーク(常設展) 参加者 18 人
- ・ 5/12 春の企画展「幻獣」 1 万人セレモニー：4 人
- ・ 5/17 もののけギャラリートーク 参加者：4 人
- ・ 5/25 もののけワークショップ「絵付け体験！幻獣ブローチをつくろう！」
参加者：25 人

- ・ 5/25 館長もののけトーク(常設展) 参加者 24 人
- ・ 6/21 もののけギャラリートーク 参加者：14 人

イ 夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」

- ・ 6/26 夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」オープニングセレモニー
参加者：50 人
- ・ 6/29 もののけツアー《稲生物怪録》体感！三次町まちあるき 参加者：16 人
- ・ 7/12 記念もののけ講演会「浮世絵師たちの妖怪キャラクター創作術」
講師：日野原健司氏(太田記念美術館主席学芸員) 参加者：30 人
- ・ 7/19～ 来館記念スタンプラリー開催
- ・ 7/19 もののけギャラリートーク 参加者：4 人
- ・ 7/27 館長もののけトーク(常設展) 参加者 20 人
- ・ 8/16 もののけギャラリートーク 参加者：30 人
- ・ 8/20 夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」 1 万人セレモニー：1 人
- ・ 8/31 館長もののけトーク(常設展) 参加者 25 人
- ・ 9/20 もののけギャラリートーク 参加者：23 人
- ・ 9/28 館長もののけトーク(常設展) 参加者 9 人
- ・ 9/28 もののけ怪道 3 館連携事業「もののけ怪道の学芸員トーク」 参加者：23 人
- ・ 10/11 もののけサロントーク 参加者：10 人
- ・ 10/18 もののけギャラリートーク 参加者：7 人
- ・ 11/15 もののけギャラリートーク 参加者：8 人

ウ 特別公開「湯本豪一名誉館長 新規寄贈資料 お披露目展」

※10/18 もののけギャラリートーク内で解説

エ 新春企画展「妖気なもののけ LIFE 2026 午 Ver.」

- ・ 11/20 新春企画展「妖気なもののけ LIFE 2026 午 Ver.」オープニングセレモニー
参加者：55 人
- ・ 11/21 もののけワークシート 参加者にクリアファイルプレゼント 参加者：約
1,250 名
- ・ 11/21 もののけ絵馬体験 参加者：約 1,000 名
- ・ 11/23 館長もののけトーク(常設展) 参加者 10 名
- ・ 12/20 もののけギャラリートーク 参加者：4 名
- ・ 12/21 新春もののけワークショップ「オリジナル人面土鈴・絵付け体験」

参加者：22 人

- ・ 12/21 館長もののけトーク(常設展) 参加者 5 人
- ・ 1/17 もののけギャラリートーク 参加者：9 名
- ・ 1/25 館長もののけトーク スペシャル Ver. 参加者：10 人
- ・ 2/21 もののけギャラリートーク 参加者：5 名
- ・ 2/22 館長もののけトーク(常設展) 休止

オ 春の企画展「狐と《変化物語》」

- ・ 3/12 春の企画展「狐と《変化物語》」オープニングセレモニー 参加者：50 人
- ・ 3/14 もののけスペシャルトーク「変化するものたち～狐を中心に」

&新著出版記念サイン会

講師：湯本豪一 名誉館長 参加者：28 名（サイン会は 15 名）

- ・ 3/21 もののけギャラリートーク 参加者：20 名
- ・ 3/31 館長もののけトーク(常設展) 参加者 25 人

(5) 資料の貸出

ア 資料貸出

(ア) 貸出先：独立行政法人国際交流基金

- a 展示名：妖怪大行進：日本の異形のものたち（海外巡回展）
- b 貸出資料：「百鬼夜行絵巻」他、計 55 点を高精細レプリカにしたもの
- c 会期：4 月 16 日～5 月 14 日（オーストラリア／パース）
6 月 10 日～7 月 4 日（アメリカ／グアム）
8 月 2 日～8 月 30 日（アメリカ／ハワイ）
9 月 25 日～11 月 8 日（アメリカ／ロサンゼルス）
2026 年 1 月 20 日～2 月 24 日（アメリカ／ナッシュビル）
3 月 20 日～5 月 24 日（アメリカ／アトランタ）

d 概要

現在、「YOKAI」として世界で親しまれる妖怪文化のルーツを辿り、人々の心に浸透していった広がりを現代まで跡付ける展覧会。

(イ) 貸出先：高知県立歴史民俗資料館（高知県南国市岡豊町）（国内コレクション展）

- a 展示名：「妖怪彙編 湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）セレクション」（入館者 8,159 人）
- b 貸出資料：「大江山絵巻」など資料、計 70 点
- c 会期：7 月 4 日～9 月 7 日

d 概要

湯本豪一コレクションを軸として、畏怖の対象だった見えない妖怪を視覚化し、娯楽の対象へと展開してきた人々の想像力の歴史に迫る展示。

(ウ) 貸出先：安城市歴史博物館（愛知県安城市安城町）（国内コレクション展）

- a 展示名：「日本妖怪展」（入館者 8,780 人）
- b 貸出資料：「百鬼夜行絵巻」など資料，計 53 点
- c 会期：9 月 13 日～11 月 3 日
- d 概要

日本一の妖怪資料といわれる湯本豪一コレクションと，安城市歴史博物館所蔵の資料から妖怪の姿や妖怪文化の広がりを紹介する展示。

(エ) 貸出先：斎宮歴史博物館（三重県多気郡明和町）（国内資料貸出）

- a 展示名：「不可思議な者たち一妖・鬼・もののけ」
- b 貸出資料：「百物語絵巻」（稲生物怪録）など資料，計 6 点
- c 会期：10 月 4 日～11 月 24 日
- d 概要

いにしえの時代から人々を悩まし続けてきた，不可思議な者たち。人々は闇の中に何を見たのか，不可思議な者たちを避ける手段はあったのかを紹介する展示。

(オ) 貸出先：スウェーデン世界文化博物館（スウェーデン）（海外画像貸出）

- a 展示名：「日本の魂－妖怪－日本の精霊」
- b 貸出資料：「百鬼夜行絵巻」など資料画像，計 170 点
- c 会期：2024 年 9 月 13 日～2026 年 11 月 22 日（ストックホルム）
上記終了から約 1 年間（ヨーテボリ）
- d 概要

日本の妖怪の歴史を古代の起源から現代のアニメーションまで，豊富な画像と資料で網羅し，紹介する展示。

(カ) その他

- ・ 資料画像貸出：出版社，博物館，大学，高校他 計 25 件
- ・ 他博物館等での展示・講演等活用：名古屋市港防災センター，海とくらしの史料館，村田町歴史みらい館／海田町ふるさと館「歴史講演会」
- ・ 出前講座 No.48 「もののけサマースクール 妖界へようこそ」：三次市内の放課後児童クラブ計 6 か所 参加者計約 460 人

2 指定管理部門の運営体制について

(1) 担当者と主な役割

館長	植田常務理事	統括・決裁・渉外
事務局長	勝山	総務・労務管理・予算管理・指定管理関係業務・施設管理全般・各種営業活動

職員	松岡	受付業務統括・パートシフト管理・給与等支払い・ショップ在庫管理
職員	猪上	経理全般・交流館売店管理（仕入・販売等）・貸館・観光交通案内
職員	高綱	広報・HP更新・SNS発信・商品開発・博物館ショップ管理
パート職員	8名	受付業務・顧客案内,対応・施設清掃

(2) 人員の配置

ア 博物館の運営人員（曜日等で勤務人員を調整。）

- (ア) 繁忙日（土・日・祝）：基本4人体制
- (イ) 閑散日（平日）：基本3人体制
- (ウ) 超繁忙日・繁忙期（ゴールデンウィーク・盆休み・夏休み等）：5人～6人体制
（必要に応じ、パート職員のシフト配置を増やし対応）

イ 交流館関係人員

- (ア) ー昨年8月から交流館で三次産品を中心とした売店を開始した。
- (イ) 平日,休日とも2名配置とし、観光案内、売店、施設管理等の各業務を行った。
（状況によりパート職員の配置を行って対応）

(3) 健全経営に向けた取組

ア 取組の方針

施設としての使命の遂行と来館者の満足度の維持向上を図ることを前提として業務上の削減可能な経費の洗い出しと、日々の経費削減の意識を職員全員が持つことを基本にして、可能な限り経費を抑える取組みを行った。

イ 具体的取組内容

具体的には、清掃・警備業務の最小化、企画業務の委託の廃止、パート職員の業務量にあった効率的シフトの配置、イベント開催、広報誌、チラシの最小化などを行った。

その上で、毎月の経理状況確認を行い、問題点の抽出や更なる改善策の検討を行った。

3 博物館業務について

(1) 開館・入館者数の実績等

ア 開館実績

- ・開館日：308日

- ・臨時開館：① 8月中は休館日無しで4日間すべての水曜日を臨時開館
 ② 12月24日(水) …クリスマス対応
 ③ 1月2日(金)・3日(土) …年始もうで対応
- ・臨時閉館：① 6月26日(木) …夏と秋の特別企画展準備
 ② 11月20日(木)・3月12日(木) …企画展開会準備
 ③ 12月26日(金)・27日(土)・28日(日) …年末年始の休み確保

イ 入館者数・入館料実績

	実 績	目 標	目標達成率
ア 入館者数	46,288 人	60,000 人	77.1%
イ 入館料	27,200 千円	25,600 千円	106.3%

入館者数目標を年間目標：60,000 人とし、HP や SNS を活用した広報宣伝活動を積極的に行うなど努力したものの、ほぼ例年と同数の入館者数に留まり、かなり厳しい目標設定と言わざるを得ない状況であった。

一方入館料に関しては、6月27日から開催の特別企画展においてほぼ限度額に近い料金設定としたことにより、目標値を上回った。

(2) 広報活動について

ア ホームページ

新しい情報を速やかに掲載できるよう努めた。掲載（更新）記事は、《別表1》ホームページ掲載（更新）記事一覧（一部）に掲載（後記）した。

イ 各種 SNS

三次市が取得したアカウントで「旧 X (Twitter)」「Facebook」「Instagram」を運営している。展示に関することを同記事で3媒体に適宜発信した。また、企画展関連イベント、メディア、ショップ、レストラン、交流館売店等の情報も適宜発信した。

発信記事は、《別表2》SNS 発信記事一覧（一部）に掲載（後記）した。

ウ 企画展ポスター・チラシ

企画展ごとの専用ポスター・チラシを作成し、市内の公共施設や県内外の関連施設等に郵送した。

エ テレビ・新聞・雑誌・取材等

各種メディアに取り上げられるよう積極的に取材を受けた。

その他、イベントバンク（無料で各種メディアにイベント情報を提供してくれるサイト）や PR TIMES（有料ながら全国の有力メディアに情報を提供してくれる運営体）などに登録して、当館の取組等を積極的に PR した。

(4) 運營業務（各種事業等）の実施について

ア 「もののけの日」の実施（毎月最終日曜日）

今年度も、毎月最終日曜日を「もののけの日」と呼び、交流館売店で5%引(酒類除く)、常設展示室で「館長もののけトーク(常設展)」を実施し、「もののけキャスト」が敷地内でお出迎えをして記念撮影等で来館者の満足度向上に努めた。

4月27日 入館者301名、館長もののけトーク18名、春まつり、トーク
5月25日 入館者336名、館長もののけトーク24名
6月29日 入館者270名、館長もののけトーク12名、もののけツアー
7月27日 入館者321名、館長もののけトーク20名
8月31日 入館者536名、館長もののけトーク25名、「三次百物語」連携
9月28日 入館者355名、館長もののけトーク9名
10月26日 入館者376名、館長もののけトーク10名
11月23日 入館者439名、館長もののけトーク9名
12月21日 入館者202名、館長もののけトーク5名、ワークショップ
1月25日 入館者105名、館長もののけスペシャルトーク10名
2月22日 入館者415名、館長もののけトーク休止
3月29日 入館者478名、館長もののけトーク5名、神楽公演2団体

イ 「もののけ(季節)まつり」等

「三次さくら祭」(3月29日～4月12日) さくら祭に協力して4月6日には当館芝生広場で「春のもののけマルシェ」を開催し、約800名の参加があった。

「三次もののけ春まつり 2025」(4月26日～29日) 「開館6周年記念ウィーク」や「ヒバゴングリーンディング&トークショー」や栄町・太歳町の「レトリートフェスティバル」や「蒸気機関車公開」とタイアップした「こども神楽」や「ダンススクール」などのイベントの実施により、博物館の魅力向上や入館者数の増に努めた。(計1,200名)

「三次もののけ夏まつり 2025」(8月15日) 三次自治会連合会の「三次地区盆踊り大会」を芝生広場で開催し、「ナイトミュージアム」や「入館者プレゼント」等、地元へ帰省した方々をターゲットとしたイベントを実施した。(約800名)

「三次もののけ秋まつり 2025」(10月26日) 「三次もののけハロウィンコンテスト 2025」や「神楽」公演(2団体)、三次市立三次中学3年生によるお化け屋敷、ワークショップ、ポップコーンの販売を行った。(約750名)

「もののけミュージアムに初もうで 2026」(1月2日～1月6日) 博物館受付にて数量限定で双六を配布。正月あそびで平太郎サロンを開放。

「三次もののけ冬まつり 2026」(2月1日～2月3日) 博物館受付にて入館者先着で「もののけ節分セット」をキャストの三次の烏天狗さんが配布。

ウ 他館との連携事業等

小泉八雲記念館（松江市）、水木しげる記念館（境港市）と当館の3館で、「もののけ怪道”3館連携協議会」を作り、「周遊パスポート」の販売等を行なっている。

また、今年は「もののけ怪道の学芸員トーク」と称して、3館の学芸員によるトークショーを9月29日(当館)と11月1日(水木しげる記念館)で実施した。

エ その他事業等

1月15日(木)～3月1日(日)には、「高松オルネ TSUT が AYA BOOKSTORE にて YOKAI EXPO2026 」に期間限定でコラボ企画の POP UP ストアに出店。

約4,000人が参加した香川県の「小豆島観光協会」・「妖怪美術館」が主催された「YOKAI EXPO2026」に博物館として出店し、広報・営業に努めた。

(4) ホームページ・各種 SNS の実績と目標

	実 績	目 標	目標達成率
ア Homepageビュー数	341,227	300,000	115%
イ Face bookリーチ数	18,585	20,000	93%
ウ X（旧 Twitter）インプレッション数	116,000	110,000	106%
エ Instagramリーチ数	81,804	100,000	82%

注1)「ウ X（旧 Twitter）」は概数での把握による。

(5) 教育関連業務

ア 実習や職場体験学習等の実施

- ・5/9 県立広島大 68名 ・6/7 就実大学 25名 ・6/7 島根県立大学 21名
- ・6/7 十日市中 35名 ・7/8,10 三次中職場体験 2名 ・7/21 香港恒生大学 20名
- ・9/2,4 十日市中職場体験 2名 ・9/8 十日市中 102名 ・9/12 別府大学 52名
- ・10/10 酒河小 28名 ・10/10 三和小 14名 ・10/16 川地中 46名(韓国学生を含む)
- ・10/17 八次小 94名 ・10/21 十日市小 6名 ・10/24 和田小 19名

イ 入館料減免通知書の発行

- (ア) 減免申請書（通知書発行） 15件
- (イ) 申請者地域 三次市：10件、県内市外：1件、県外：4件
- (ウ) 申請者内訳 生徒等：470名、引率教諭等：64名、 合計：534名

4 博物館の売店業務について

(1) 売上実績と目標

	実 績	目 標	目標達成率
ショップ売上	12,291 千円	13,000 千円	94.5%

(2) 主な販売品目

妖怪関連グッズ（手ぬぐい・ハンカチ・線香・便箋・懷柄紙・ポストカード・ぼち袋・クリアファイル・ピアス・イヤリング・ピンバッジ・御朱印帳・バッグ・缶バッジ等）、妖怪絵本、妖怪図鑑、妖怪漫画、妖怪書籍、トートバッグ

(3) 本年度の新商品(自社制作)

- ア 春の企画展関連グッズ（アクリルスタンド・アクリルキーホルダー）
- イ 夏と秋の特別企画展関連グッズ（ブックカバー&栞 3 種・パタパタメモ・巾着・缶バッジクリップ）
- ウ アクリルスタンド（稲生物怪録 3 種）
- エ ミラー缶バッジ（2 種）
- オ ストラップ缶バッジ（5 種類）
- カ 「湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）オリジナルフレーム切手の販売」

(4) 年間パスポート

2025 年 4 月 1 日から年間パスポートをリニューアル。

昨年度の利用者：21 人

今年度の利用者：52 人（31 人増）

5 交流館の売店業務について

(1) 売上実績と目標

	実 績	目 標	目標達成率
売店売上	2,519 千円	2,500 千円	100.8%

(2) 現状と課題等

- ア 令和 5 年 8 月 1 日から営業開始
- イ 三次のお土産の販売（三次産品に限定，仕入先：24 社，商品：93 品）
- ウ 販売方式：買取り販売（8 社）と受託販売（16 社）
- エ 令和 6 年 6 月から酒類販売を開始
- オ 課題：仕入業者数と商品数の拡大

6 貸館業務について

(1) 賃貸料収入実績等

	実 績	目 標	目標達成率
施設利用料金	903 千円	700 千円	129.0%

(2) 交流館レストラン賃貸借について

レストランの再開に向け一昨年度末からテナント募集を行っていたが、条件が整い 4 月 26 日から「はなうた食堂」として開業した。年度内来店者数は約 12,000 人で、一日当たり平均 52 名となっており、今や地域にも愛される食堂となっている。また、施設への来場者の評判も良く、イベント時の飲食の場としても協力いただき、施設全体の魅力度アップにつながっている。しかしながら冬季の来館者の減少する時期の営業の在り方や、日により来店者数が大幅に違うことへの対応など課題もある。

(3) その他の施設利用について

- ア 利用実績：総数 101 件，2,228 人
- イ 利用料金実績：101,490 円

7 施設維持管理業務について

(1) 日常点検

設備・備品の保全、敷地内清掃（特に野外の落ち葉処理）、見回り等を指定管理者自ら実施した。

(2) 専門業者による維持管理業務

専門的な業務については、その業務内容に基づき、最も適切な業者を選定し業務委託した。

ア 専門的な資格等を有する業者への委託業務

電気設備点検，エレベーター点検，自動ドア点検，消防設備点検，空調設備点検，害虫駆除，施設警備等

イ 特別な技能等を有する業者への委託業務

展示室・収蔵庫関係設備の保守点検，チームラボ妖怪遊園地の保守点検等

《別表1》ホームページ掲載（更新）記事一覧（一部）

掲載（更新）日	掲載（更新）内容
4月14日	【受付終了】イベント もののけツアー「《稲生物怪録》体感！三次町まちあるき」(R7.6/29)
4月22日	【新規出店】「はなうた食堂」開店(R7.4/26)のお知らせ
5月2日	春の企画展「幻獣 GENJU」関連イベント もののけワークショップ「絵付け体験！幻獣ブローチをつくろう！」(R7.5/25)
5月29日	夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」の開催について
6月21日	【重要】休館のお知らせ（令和7年6月25日～26日）
7月7日	2025年8月は休館日なしで開館いたします。
7月31日	三次もののけ夏まつり 2025 (R7.8/15)
8月7日	【終了】高知県立歴史民俗資料館・企画展「妖怪囃子 湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）セレクション」について
8月25日	【発売中】湯本豪一記念日本妖怪博物館・水木しげる記念館・小泉八雲記念館をめぐる「もののけ3館周遊パスポート」について
9月12日	【終了】安城市歴史博物館・特別展「日本妖怪展」について
9月18日	【報道発表】湯本豪一名誉館長新規寄贈資料贈呈式について
9月27日	「三次もののけハロウィンコンテスト 2025」の開催について
9月27日	「三次もののけ秋まつり 2025」の開催について
10月2日	「湯本豪一名誉館長新規寄贈資料 お披露目展」の開催について
11月10日	【2025年11月21日～】博物館入館料の変更について
12月7日	湯本豪一記念日本妖怪博物館 年間スケジュール(2025年11月～2026年10月)
12月21日	年末年始のお知らせ・新春もののけイベント「もののけミュージアムに初もうで 2026」の開催について
1月12日	湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）オリジナルフレーム切手の販売開始
1月17日	高松オルネ TSUTAYA BOOKSTORE にて YOKAI EXPO2026 コラボ企画の POP UP スタアに出店のお知らせ
1月19日	三次もののけ冬まつり 2026 について (R8.2.1~2.3)
2月1日	2026年3月13日(金)から 入館料改定のお知らせ
2月5日	春の企画展「狐と《変化物語》」の開催について
2月19日	【新刊案内】湯本豪一名誉館長 著『妖怪&幻獣 妖々よろず絵巻』刊行のお知らせ
3月9日	春の企画展「狐と《変化物語》」関連イベント「もののけスペシャルトーク」の開催について

《別表2》SNS発信記事一覧（一部）

発信日	発信内容
4月1日	年間パスポート 開始
4月3日	【予告】春のもののけマルシェ
4月6日	春のもののけマルシェ
4月18日	秋の企画展図録再販のお知らせ
4月25日	【お知らせ】はなうた食堂
4月26日~29日	三次もののけ春まつり
5月2日	はなうた食堂 5月臨時休業のお知らせ
5月10日	新商品のお知らせ
5月25日	もののけの日
6月16日	もののけの日（予告）
6月20日	特別企画展グッズ情報予告（メモ）
6月21日	特別企画展グッズ情報予告（しおり）
6月22日	特別企画展グッズ情報予告（かみきりしおり）
6月23日	休館のお知らせ 缶バッジプレゼント企画
6月24日	特別企画展グッズ情報予告（土蜘蛛しおり）
6月26日	特別企画展グッズ情報予告（土蜘蛛巾着）
6月27日	特別企画展グッズ情報予告（全体）
6月29日	もののけの日（当日）
7月4日	はなうた食堂 7月お休み
7月7日	三次百物語
7月8日	休館日なし
7月11日	年間パスポート
7月12日	特別企画展関連グッズ（全体）
7月13日	三次百物語
7月15日	もののけの日予告
7月24日	年間パスポート
7月27日	もののけの日予告
8月1日	博物館ショップ キーホルダー
8月2日	はなうた食堂 8月カレンダー
8月4日	もののけ夏まつり 2025

8月5日	もののけの日（予告）
8月6日	もののけ夏まつり 2025（リポスト）
8月8日	博物館ショップ 小梅屋
8月11日	もののけお楽しみ袋 年間パスポート
8月12日	全日開館・イベント情報
8月14日	リポスト 三次百物語
8月16日	夏と秋の特別企画展ガチャ
8月18日	リポスト 三次百物語
8月20日	新商品 稲生物怪録アクリルスタンド
8月22日	年間パスポート
8月26日	リポスト 三次百物語
8月31日	もののけの日
9月5日	はなうた食堂 休日
9月11日	年間パスポート
9月16日	もののけの日（予告）
9月20日	年パス
9月22日	もののけの日（予告）
9月28日	もののけの日（当日）
9月29日	ハロウィンイベント情報
11月4日	はなうた食堂 11月の営業時間・休業日のお知らせ
11月10日	入館料の変更のお知らせ
12月11日	もののけクリスマス 2025
12月16日	もののけの日（予告）
12月21日	もののけの日
12月24日	臨時開館
12月25日	年末年始について
1月1日	謹賀新年
1月15日	日本妖怪博物館オリジナルフレーム切手販売について
1月18日	高松オルネ TSUTAYA BOOKSTORE にて YOKAI EXPO2026 コラボ企画
1月19日	三次もののけ冬まつり 2026（予告）
1月20日	臨時開館・休館のお知らせ
1月30日～2月3日	三次もののけ冬まつり 2026
2月13日	期間限定・30セット限定当館店頭で当館オリジナルフレーム切手

3月17日	もののけの日（予告）、三次観光アンバサダーについて
3月23日	『妖怪&幻獣 妖々よろず絵巻 湯本豪一コレクション』サイン入り書籍
3月31日	令和8年4/2(木)から年間パスポート新デザイン

《別表3》各種メディア番組・記事等一覧（一部）

春の企画展「幻獣 GENJU -信じられてきたものたち-」	
4月	「月刊くれえばん」5月号 企画展紹介
4/9～4/15	(株)ケーブルビジョン「市役所ほっとニュース」 企画展紹介
4/23～4/29	(株)ケーブルビジョン「市役所ほっとニュース」 春まつり紹介
5月12日	(株)ケーブルビジョン「1万人達成セレモニー」紹介
6月18日	広島テレビ 企画展紹介
4/1～6/24	公式 SNS で情報（展示内容、グッズ、関連イベントの紹介等）を84件（会期3月分含む）発信
夏と秋の特別企画展「妖怪を描いた浮世絵師たち」	
6月25日	「月刊くれえばん」7月号 企画展紹介
7月11日	中国新聞 企画展紹介
7月10日	NHK「ひるまえ直送便」 企画展紹介
7月11日	RCC「ランキン Land!」 企画展紹介
7月21日	RCC「イマなま!」 企画展紹介
8月2日	マツダスタジアム ビジョン宣伝 企画展紹介
8月12日	RCC ラジオ「おはようラジオ」 企画展紹介
8月23日	「ウイंक」9月号 企画展紹介
8月25日	「TJ Hiroshima」9月号 企画展紹介
10月4日	中国新聞「発するタウン三次」 企画展紹介
新春企画展「妖気なもののけ LIFE 2026 午 Ver.」	
11月21日	読売新聞 企画展紹介
11月21日	リビングひろしま 企画展紹介
11月22日	中国新聞 企画展紹介 企画展紹介
11月25日	「月刊くれえばん」12月号 企画展紹介
12月	「ウイंक」1月号 企画展紹介
12月	「TJ Hiroshima」1月号 企画展紹介

12月15日	朝日新聞 新春広告企画 三次市年賀状広告
12月18日	NHK 広島「お好みワイドひろしま」生中継 企画展紹介
1月8日	FM はつかいち 企画展紹介
1月21日	FM ふくやま 企画展紹介
1月23日	「ウインク」2月号 企画展紹介
2月12日	NHK ラジオ「ひろしま コイらじ」 企画展紹介
春の企画展「狐と《変化物語》」	
3月10日	「博物館研究」 企画展紹介
3月13日	リビングひろしま 企画展紹介
3月13日	読売新聞 企画展紹介
3月21日	中国新聞 企画展紹介
3月25日	「月刊くれえばん」4月号 企画展紹介
3月25日	「TJ Hiroshima」4月号 企画展紹介
当館に関する広報・営業	
5月30日	企画展情報：イベントバンク・PR タイムズ（有料）
6月16日	企画展：アート情報ウェブメディア・チラシミュージアム アイエム
7月18日	おやこ新聞
7月23日	企画展情報：タウン情報「ウインク」
7月下旬	月刊 MOE 8月号
7月24日	東広島デジタル
7月25日	くれえばん 8月号
8月19日	旅色 FOCAL
8月23日	ウインク 9月号
8月4日	中国電気保安協会
8月14日	日本事情発信ウェブサイト「We Japan」
8月20日	JAF メイト秋号
8月30日	三次よいところ紹介
9月下旬	るるぶドライブ ベストコースシリーズ
9月17日	ちゅーピーくらぶ
10月6日	多言語情報サイト GOOD LUCK TRIP
10月17日	マガジンハウス雑誌「BRUTUS」再掲載

10 月 23 日	ひろしんおとも会ニュース
11 月 23 日	広島観光連盟 バリアフリー情報掲載
11 月 24 日	ケーブルテレビ 年賀状
12 月下旬	ちゅーピーくらぶ
3 月 8 日	ひろしま文化・情報ネット「ブンカッキーネットひろしま」
3 月 10 日	Tsugi 旅ライター
3 月 19 日	中国新聞「ミュージアムで会いましょう春」
3 月 19 日	ウィンク 5 月号